

2010APECWLN の日本開催について（案）

1. 目的：

APEC 女性リーダーネットワーク会合（以下 WLN という）は APEC に加盟する 21 の国と地域の産業界、学界、行政、民間団体などの女性リーダーからなるネットワークであり、男女共同参画社会の実現のために女性達の経済活動の発展に寄与することを目的として毎年 APEC 議長国で開催されている。WLN は APEC の正式組織ではないが、1996 年以降毎年 APEC と政策協議を行ってきたところである。

日本における女性の活躍は進んできたが、まだ海外に比較すると遅れており、国内及び海外での今後の活躍がさらに期待される場所である。このため日本で活躍する多くの女性リーダー達が女性の国際交流の場で他国や日本のあらゆる分野における女性の経済活動の事例に触れながら、国内及び国際的なネットワークを形成し、日本、海外の状況について理解を深めあい、さらなる女性の躍進への足掛かりとの機会となることを目的として、2010 年に日本で開催される APEC 関連の会合の一つとして開催する。なお、WLN は日本で初めての開催となる。

2. 実行体制：

実行委員長：内永ゆか子氏（株）ベネッセ副会長兼ベルリッツ・インターナショナル社長、NPO J-win 理事長

3. 日 程：2010 年 9 月中旬頃（2.5 日間を想定）

4. 開催地：東京周辺

5. 会 場：

知名度、利便性（アクセス、会場、宿泊施設等）、国際会議の経験の有無、支援の期待などから検討中。

6. 参加人数：約 500 人

7. 内 容：

全体会合（基調講演、パネルディスカッション）、分科会、女性事業家の商品展示・販売、エクスカージョン、文化イベント（踊り、音楽等）等

8. テーマ:

男女共同参画の視点から論じられ、活発な意見交換や経験の共有が出来るテーマとして中小企業、起業、経営、法・政策、貿易・輸出入、情報通信技術、教育・研修、融資・資金調達、企業の社会的責任、農山漁村・地方の経済活動など、多岐にわたる経済活動関連。

分科会やワークショップは開催国の独自色が出るため今後要検討。

現在の我が国の課題や経験を紹介。

(例)・「生活者の視点で事業化～人を育て地域を育てる日本型中小企業」

- ・「企業における女性活躍推進」
 - ・「女性起業家支援」
 - ・「ワークライフバランス」
 - ・「地域活動・消費者運動・経済発展と、女性の学習・エンパワーメント」
 - ・「女性への融資」
 - ・「農山漁村における女性の活躍」
 - ・「観光業における女性と地域振興」
 - ・「科学技術分野における女性の活躍」
 - ・「大学における女性研究者活躍促進事例」
 - ・「メディア経済部や金融関係など経済分野を専門として働く女性の活躍」
- 等

9. 期待される成果:

- ①経済活動に携わる女性の国内及び国際的なネットワークの形成・強化
- ②他国や日本の女性の経済活動の事例に触れ、ツールや経営手法などを学び合う
- ③日本の状況を世界に発信することによって、日本への海外の理解を深める
- ④運営に関わる団体にとっては、APEC への提言とその実施に関与すること、国際会合を運営することによって組織力を高めるなどエンパワーメントの機会となる。